

第 29 回 熊野灘の漁業を考える

「2017 年に始まった黒潮大蛇行の三重県漁業への影響」

日 時：2020 年 2 月 15 日（土）13:00～17:00（受付 12:30～）

場 所：三重県松阪庁舎 6 階大会議室（松阪市高町 138）

共 催：一般社団法人水産海洋学会，熊野灘漁業を考える会，三重県水産研究所

後 援：三重県漁業協同組合連合会

コンビーナー：伊藤宣毅（考える会），山川 卓（東大院農），津本欣吾，宮本敦史（三重水研）

1. 挨拶：山下 洋（一般社団法人水産海洋学会長） 13：00～13：10
伊藤宣毅（考える会代表）
2. 趣旨説明：遠藤晃平（三重水研） 13：10～13：20
3. 話題提供
座長：土橋靖史（三重水研），水口忠久（考える会）
 - (1) 2017 年に始まった黒潮大蛇行と沿岸海況 13：20～13：55
久野正博（三重水研）
 - (2) カツオ漁業（春夏季における漁場形成の変化） 13：55～14：15
津本欣吾（三重水研）
 - (3) まき網漁業（浮魚類の来遊状況の変化） 14：15～14：35
岡田 誠（三重水研）
 - (4) 定置網漁業（漁獲構成種の変化と急潮） 14：35～14：55
笹木大地（三重水研）

(休 憩) 14：55～15：10

座長：藤田弘一（三重県漁業環境課），平山 厚（考える会）
 - (5) 魚類養殖業（魚類の養殖管理に及ぼす影響） 15：10～15：30
松田浩一（三重水研）
 - (6) 真珠養殖業（2019 年夏季に発生したアコヤガイ大量へい死との関係） 15：30～15：50
栗山 功（三重水研）
 - (7) 藻類養殖業（黒ノリ，青ノリ養殖への影響） 15：50～16：10
岩出将英（三重水研）
4. 総合討論
座長：山川 卓（東大院農），津本欣吾（三重水研） 16：10～17：00

開催趣旨：2017 年 8 月から始まった黒潮大蛇行は，発生から 3 年目に入った現在も解消の兆候が見られていない。2019 年 12 月に水産研究・教育機構が発表した漁海況長期予報においても，大蛇行流路は少なくとも 2020 年 6 月までは継続すると予測されている。熊野灘沿岸域の海況は，黒潮流路の影響を大きく受けることが知られており，特に大蛇行時の内側反流による高水温化等は，県内の様々な漁業に影響を及ぼす可能性がある。本研究集会では，今回の黒潮大蛇行発生以降に県内の様々な漁業で生じた特異的な現象と黒潮流路との関係を検討・整理するとともに，漁業関係者等と情報共有を図り，漁業側が取り得る対応等について議論したい。